採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名:医学系】

| 大 | 学 | 名 | 自治医科大学 | 整理番号 | F - 1 |
|------------|-----|----|-------------------|------|-------|
| 拠点のプログラム名称 | | | 先端医科学の地域医療への展開 | | |
| 中核となる専攻等名 | | | 医学研究科人間生物学系専攻 | | |
| 事業 | 推進担 | 当者 | (リ-ダ-) 小澤 敬也 外14名 | | |

(拠点形成の概要)

本拠点は、地域医療推進(全国の地域拠点を結んで実施しているJMSコホート研究など)・先端医科学研究(遺伝子治療を含むゲノム医療/再生医療の開発)を二本柱とし、世界的にみても大変ユニークな研究教育機関である。本プログラムでは、それらの連携により、生活習慣病などの遺伝的背景や地域集積性のゲノム解析、ならびにその予防対策・新規治療法の確立を目指す。家系情報と臨床データを包含した大規模地域ゲノムバンク(全国をカバー)の構築は、将来的にも貴重な財産となる。また、地域住民へのフィードバックを目的に、地域拠点ネットワークを整備する。更に、遺伝子治療の基盤研究と応用研究、ならびに霊長類ES細胞や体性幹細胞を利用した再生医療の開発研究では、大型動物を用いた前臨床研究にも力を入れ、本格的実用化に繋がる研究を国際的規模で推進する。本拠点は、先端医科学の導入により、21世紀に相応しい新しい地域医療モデルを提案し、それを実現していく計画である。

(採択理由)

自治医科大学の特長である地域に広がるネットワークを生かし、未来の医療の開発に必要な遺伝子を含む様々な情報を収集、成果を研究と教育に生かすことを含めての拠点形成が高く評価できる。特に疫学的研究において、この拠点形成には有利な面が強く、それを生かした研究・教育が期待できる。